

第23回日本小児栄養研究会のご挨拶

第23回日本小児栄養研究会を開催させていただくこととなりました、獨協医科大学埼玉医療センター小児科の小山さとみと申します。日本小児栄養研究会は小児の栄養学及びこれに関連のある研究の促進または学際領域との連携提携を図りもって学術の発展と小児の健康増進に寄与することを目的に設立され、その目的達成の一つとして日本各地で年次集会を開催しております。この度、理事長の児玉浩子先生をはじめ運営委員の先生方のご推薦を受け、2026年2月21日に埼玉県越谷市にあります獨協医科大学埼玉医療センター第1, 2, 3会議室で開催することとなりました。

今回のテーマは、『栄養が紡ぐ子どもの健康－多様な小児疾患への栄養的アプローチの最前線－』としました。胎児期、小児期、思春期を経て大人へなっていく過程で問題となる様々な疾患に対する栄養の重要性と一緒に学びたいと思います。特別講演では昭和医科大学江東豊洲病院小児内科の中野有也先生に「DOHaD を考慮した SGA 児に対する乳幼児期の栄養指導」というタイトルで、SGA 児の出生後の理想的な成長とそれを目指した栄養療法についてご講演いただきます。教育講演1では、近年関心が高まっている小児の食物アレルギーの予防や治療、栄養療法に関して、獨協医科大学小児科学の加藤正也先生に『小児食物アレルギーの発症予防と治療』、そして獨協医科大学栄養部の齋藤克枝先生に『子どもの食物アレルギーの栄養療法について』をご講演いただきます。教育講演2では NHO 静岡てんかん・神経医療センターの今井克美先生に『ケトン食療法の歴史と展望』というタイトルで、難治性てんかんの治療食として保険適応となってから約10年がたとうとしているケトン食療法についてわかりやすくご解説いただきます。また『肥満とやせの栄養的アプローチの最前線』というテーマでシンポジウムを企画し、小児肥満、Female Underweight/Undernutrition syndrome(FUS)、神経性やせ症の3つの疾患についてご講演いただくこととしました。埼玉医科大学小児科の菊池透先生には『肥満小児への「体重の増減を基にした食事指導」は、是か非か』というタイトルで小児肥満の栄養についてお話しいただき、慶應義塾大学保健管理センターの井ノ口美香子先生には『Female Underweight/Undernutrition syndrome(FUS)－小児期からの予防と対策－』というタイトルでご講演いただきます。FUS は18歳以上閉経前の女性を対象に提唱された概念ではありますが、その予防には小児期からの保健教育、栄養教育が重要となることをお話しいただきます。そして、獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センターの井上建先生に『外来診療で神経性やせ症をどう診るか：日常診療における課題と工夫』というタイトルで小児科外来における神経性やせ症の診療の流れをご解説いただき、栄養を軸とした外来治療の工夫について実際の症例を通してご講演いただきます。さらに、ランチョンセミナーでは獨協医科大学埼玉医療センター小児科の大戸佑二先生に『プラダ—・ウィリ症候群と栄養管理』について、スポンサードセミナーでは、大阪母子医療センター消化器・内分泌科の恵谷ゆり先生に『小児の栄

養と低身長について』ご講演いただきます。

お集まりいただいた先生方にとって有意義な会となれば幸いです。ぜひ活発なご討論をどうぞよろしくお願ひいたします。

2026年1月

第23回日本小児栄養研究会 会長
小山 さとみ(獨協医科大学埼玉医療センター小児科)

参加者へのご案内

1. 開催概要

- ・開催方法: オンサイト(獨協医科大学埼玉医療センター第1, 2, 3会議室)
- ・会期: 2026年2月21日 土曜日 9:00~17:30

2. 参加方法

【参加費】

	会員・非会員	学生
大会参加費(抄録集付き)	3,000円	1,000円

*学生は、証明書または学生証のご提示をお願いします。(抄録集不要の場合は無料)

*受付時間: 9:00~16:00

*受付場所: 獨協医科大学埼玉医療センター第1会議室前

3. クロークについて

会場ではクローケの設置は致しませんが会場内に荷物置き場をご用意しております。

各自の責任でご利用ください。

4. ランチョンセミナー

会期中、ランチョンセミナー会場にて昼食をご用意いたします。

*昼食については先着順にて配布となります。数に限りがございますので予めご了承ください。

5. 取得単位について

●本研究会への参加により取得できる単位(予定)は以下の通りです。

- ・日本栄養士会(特定分野小児栄養分野管理栄養士・栄養士更新単位[学会参加2単位])
- ・日本小児科学会(小児科専門医更新単位)
- ・日本臨床栄養学会(臨床栄養医(指導医)認定2単位)
- ・日本臨床栄養協会(NR・サプリメントアドバイザー資格更新5単位)
- ・日本食品安全協会(健康食品管理士資格更新2単位)
- ・日本健康・栄養システム学会(臨床栄養士継続研修10単位)
- ・埼玉県栄養士会(生涯教育単位 P23-115 小児の栄養「子どもの病態栄養」2単位)

6. その他

・講演会場内の写真・ビデオ撮影、録音ならびに許可のない講演内容の引用などはご遠慮ください。
著作者に許可のない録音・録画及び写真撮影は著作権法違反となります。そのような行為を場内で

見かけた際は、スタッフがお声掛けさせていただきます。なお記録として運営事務で撮影・録音をさせていただく場合がございます。

・会場内は禁煙です。(獨協医科大学埼玉医療センター敷地内も禁煙です)

・会場内でのお呼び出しは原則として行いません。

座長・演者へのご案内

◆各セッション発表時間・質疑応答時間一覧

プログラム名	発表時間
一般演題	10分(発表7分+質疑応答3分)
教育講演1	25分×2
教育講演2	40分
特別講演	60分
シンポジウム	25分×3

◆座長へのご案内

- ・ご担当されるセッション開始時間の10分前までに会場前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・セッション開始時にアナウンスが入りますので、アナウンスに従って進行をお願いいたします。
- ・進行は時間厳守でお願いいたします。

◆演者へのご案内

1. PC データ受付

- ・発表の20分前までに PC 受付にて受付をお済ませください。
＊発表時間に余裕を持って受付をお済ませいただきますようお願いいたします。
- ・PC 受付時間

2月21日(土)9:00～16:20

2. 発表について

1. パソコンを使用した発表のみとなります。
2. 発表は、メディア(USB フラッシュメモリー)またはノートパソコンの持ち込みによる発表が可能です。お預かりした発表データは主催者側で責任を持って消去いたします。
3. Macintosh を使用する場合は、必ずご自身の PC と HDMI 変換コネクターをお持ち込みください。
4. セッション開始10分前までに会場前方の「次演者席」にご着席ください。
5. 演台にモニターとマウス、キーボードを準備してありますので演者ご自身で操作してください。
6. 発表の際は、発表者ツールのご使用はご遠慮いただきますようお願いいたします。

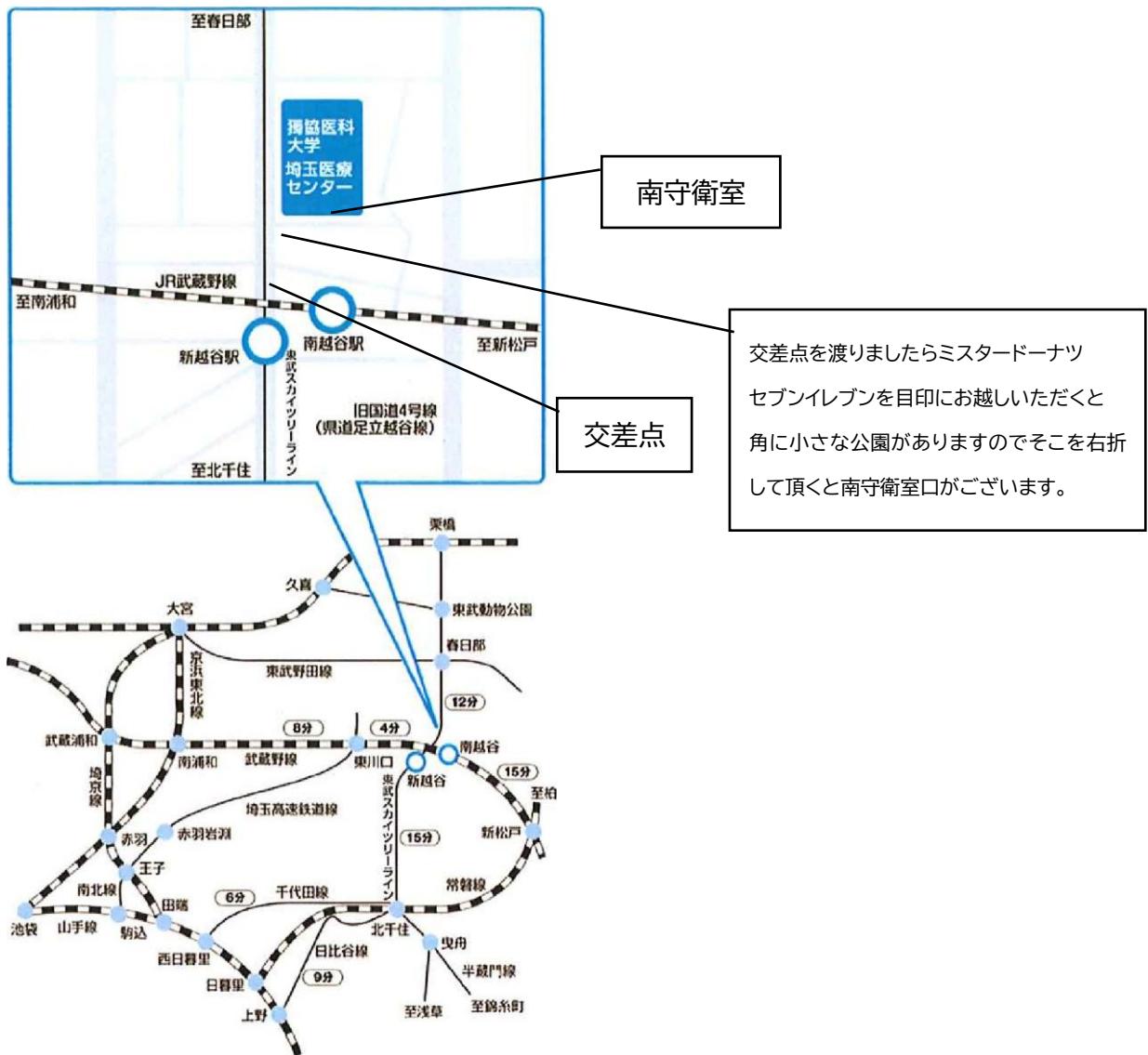
【メディア(USB フラッシュメモリーの持ち込みの注意点)】

- ・OS は Windows11、PowerPoint2024 がインストールされた PC を用意しております。
 - ・スライドサイズは 16:9 を推奨いたします。4:3 でも問題ございませんが、画面左右に黒い帯が表示されます。
 - ・文字化けを防ぐため、Windows に標準搭載されているフォントを推奨いたします。
- 【日本語】MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
- 【外国語】Century、Century Gothic
- *画面ギリギリまで使用すると再現環境の違いにより、文字や画像のはみだしがある場合がございます。
- ・発表データは USB メモリに記録してください。なお、メディアには発表されるデータ(最終)と動画データ以外は入れないでご用意してください。
 - ・プレゼンテーションに他のデータ(動画等)をリンクさせている場合は、必ず元のデータも保存していただき、事前に動作確認をお願い致します。
 - ・データは『演題番号 氏名』で保存してください。例:1-1 小山 さとみ

【PC 持ち込みの注意点】

- ・あらかじめ PC 本体のパスワード、スクリーンセーバー、省電力機能、ウイルス対策ソフト等が作動しないように設定してください。
- ・出力コネクターとの接続は、HDMI 端子です。
- ・Macintosh や HDMI に変換が必要な機種のパソコンをご利用される場合は、必ず変換コネクターをご持参ください。また、電源アダプターも必ずご持参ください。
- ・当日発表されるデータは、デスクトップ画面上に保存してください。
- ・PC 持ち込みの場合でも、メディアのバックアップ用データを必ずご持参ください。
- ・PC 受付にて動作確認後、PC 本体は演者自身で各会場内左前方のオペレーター席にお持ちください。
- ・発表後はオペレーター席にてご返却いたします。

交通案内



東武スカイツリーライン(地下鉄日比谷線)新越谷駅(東口)下車徒歩 3 分

JR 武蔵野線南越谷駅下車徒歩 3 分

***当日は休診日のため、正面玄関は開いておりません南守衛室口よりお入りください。**
南守衛室からは表示に従い、移動してください。

タイムテーブル

2026年2月21日(土)獨協医科大学埼玉医療センター第1.2.3会議室

9:00	
9:25~9:30	開会の挨拶
9:30~10:20	一般演題1 座長：前川 貴伸
10:00	
10:25~11:15	教育講演1 座長：西本 裕紀子 演者：加藤正也、斎藤克枝
11:00	
11:15~11:55	教育講演2 座長：増本 幸二 演者：今井 克美
12:00	
12:05~13:05	ランチョンセミナー 座長：東海林 宏道 演者：大戸 佑二
13:00	
13:15~14:15	特別講演 座長：小山 さとみ 演者：中野 有也
14:00	
14:20~15:00	スポンサードセミナーおよび運営委員会(管理棟会議室) 座長：有阪 治 演者：恵谷 ゆり
15:00	
15:05~15:55	一般演題2 座長：木村 武司
16:00	
15:55~17:10	シンポジウム 座長：位田 忍 演者：菊池 透、井ノ口 美香子、井上 建
17:00	
17:10~17:15	優秀演題賞表彰式
17:15~17:20	閉会式

プログラム

9:25~9:30 開会の挨拶

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科 小山 さとみ

9:30~10:20 一般演題 1

座長:前川 貴伸(国立成育医療研究センター 総合診療部 総合診療科)

1. 非乳児用ヤギミルクを使用した育児過誤により体格は普通だが低栄養をきたした乳児例

尾野 花純、今谷 魁志、伊藤 奎大、佐藤 天馬、田中 秀典、森下 理一、鷺尾 高志、秋山 裕紀、平尾 憲、佐々木 侑、鈴木 大樹、島崎 聰一、蓑和 芳隆、森田 翼、宮山 千春、田中 慎一朗、大戸 佑二、新田 晃久、小山 さとみ、松原 知代、高谷 具純

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科

2. 幼児における塩味味覚閾値と食塩摂取量の関連

濱谷 亮子¹ 小谷 円花² 太田 昌子^{1,3}

1. 東洋大学 ライフノベーション研究所

2. 新渡戸文化短期大学 フードデザイン学科

3. 東洋大学 健康スポーツ科学部 栄養科学科

3. 新型コロナウイルス感染症パンデミック前後の母乳率の変化

鈴木 絵美子、村野 弥生、中澤 友幸、坂巻 健 東京都立豊島病院 小児科

米岡 大輔 国立感染症研究所

東海林 宏道 順天堂大学 小児科

4. 低脂肪成分栄養下における小腸切除後腸管順応の質的評価－マウスモデルを用いた形態学的・分子生物学的検討－

佐々木 理人¹⁾²⁾、後藤 悠大¹⁾²⁾、小野 健太郎¹⁾、島野 仁³⁾、増本 幸二²⁾

1) 筑波大学大学院人間科学総合科学学術院

2) 筑波大学医学医療系小児外科

3) 筑波大学医学医療系内分泌・代謝内科

5. 栄養介入を行った小児腸管不全症例の成長発達についての検討

木村 武司、伊東 英美、石井 裕代、松岡 由紀、三浦 義一、福井 美穂、福岡 智哉、橘 真紀子、北畠 康司、宇賀 菜緒子、児玉 匠、中畠 賢吾、上野 豪久

大阪大学大学院医学系研究科 小児科、同 小児外科、大阪大学医学部付属病院 腸管不全
治療センター

10:25~11:15 教育講演 1

座長:西本 裕紀子(大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 栄養管理室)

小児食物アレルギーの発症予防と治療

加藤 正也

獨協医科大学 小児科学

子どもの食物アレルギーの栄養療法について

斎藤 克枝

獨協医科大学病院 栄養部

11:15~11:55 教育講演 2

座長:増本 幸二(筑波大学医学医療系 小児外科)

ケトン食療法の歴史と展望

今井 克美

NHO 静岡てんかん・神経医療センター 小児科

12:05~13:05 ランチョンセミナー

座長:東海林 宏道(順天堂大学医学部小児科学講座)

共催:サンド株式会社

プラダー・ウィリ症候群と栄養管理

大戸 佑二

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科

13:15~14:15 特別講演

座長:小山 さとみ(獨協医科大学埼玉医療センター 小児科)

DOHaD を考慮した SGA 児に対する乳幼児期の栄養指導

中野 有也

昭和医科大学江東豊洲病院 小児内科

14:20~15:00 **スポンサードセミナー**
座長:有阪 治(宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 小児科、獨協医科大学医学部 小児科学)
共催:JCR ファーマ株式会社

小児の栄養と低身長について
惠谷 ゆり
大阪母子医療センター 消化器・内分泌科

15:05~15:55 **一般演題 2**
座長:木村 武司(大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

1. 小児がん治療中の BMI 低下は小児がん経験者の身長予後悪化のリスク因子である

和田 珠希¹、畠 彩葉¹、前山 隆智¹、位田 忍²、樋口 紘平³、佐藤 真穂³、澤田 明久³、
惠谷 ゆり¹、川井 正信^{1,4}

1. 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科
2. 大阪母子医療センター 臨床検査科
3. 大阪母子医療センター 血液・腫瘍科
4. 大阪母子医療センター研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門

2. 一過性骨髓異常増殖症に伴う肝性低血糖に対するコーンスター・チ療法の有効性

細見 航介¹⁾、武藤 大和²⁾、佐藤 俊介²⁾、井神 健太²⁾、森下 俊真²⁾、山田 啓迪²⁾、池野 充²⁾、菅沼 広樹²⁾、東海林 宏道²⁾

- 1)順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研修センター
- 2)順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科・思春期科

3. 内科的管理を要する挙児希望患者とパートナーの体格および食生活に関する検討

加嶋 優子、麻原 明美、伊藤 真緒、西本 裕紀子
大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 栄養管理室

4. 拘束型心筋症児に対し食教育を踏まえた栄養介入について

海老名 慧^{1,2}、高井 紗菜¹、浮田(柴崎) 千絵里¹、北久保 佳織¹、増本 幸二^{1,3}
1) 筑波大学附属病院 病態栄養部

- 2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究群 スポーツ医学学位プログラム
- 3) 筑波大学 医学医療系 小児外科

5. 幼児期から中・高度肥満を呈し増悪・改善の経過を経ながら栄養食事指導を継続している単純性肥満の3症例

伊藤 真緒¹⁾、西本 裕紀子¹⁾、麻原 明美¹⁾、加嶋 倫子¹⁾、川井 正信²⁾、和田 珠希²⁾、
宮原 由起²⁾、恵谷 ゆり²⁾

1)大阪母子医療センター 栄養管理室、2)同 消化器・内分泌科

15:55~17:10 シンポジウム －肥満とやせの栄養的アプローチの最前線－
座長：位田 忍（大阪母子医療センター 臨床検査科）

肥満小児への「体重の増減を基にした食事指導」は是か非か
菊池 透
埼玉医科大学 小児科

Female Underweight/Undernutrition Syndrome (FUS) －小児期からの予防と対策－
井ノ口 美香子
慶應義塾大学 保健管理センター

外来診療で神経性やせ症をどう診るか：日常診療における課題と工夫
井上 建
獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター

17:10~17:15 優秀演題表彰式

17:15~17:20 閉会式